



ぶどう塾 実践的な講習をしています

JAひろしま芸南地域営農経済センターは、4月26日東広島市安芸津町で「ぶどう塾」を開き、受講生10人が参加しました。同塾は、2022年に開講し、現在2期生を迎えています。

安芸津町には、国の果樹に関する研究機関があり、ぶどう、柿の育種から栽培研究に取り組み、ぶどうでは、「クイーンニーナ」「シャインマスカット」等の品種登録がされています。

同町では、ぶどう栽培に取り組んでいる生産者が多数あり、基礎知識の習得や現地実習を交えた実践的な講習で、4月は新梢管理と誘引について学びました。



びわ及び柑橘塾 産地を守る活動をしています



JAひろしま芸南地域営農経済センターは、4月26日東広島市安芸津町で「びわ及び柑橘塾」を開きました。同塾は、2018年に開講しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中断。現在は4期生14人が受講しています。

芸南地域は、古くから県内唯一の産地として、びわ栽培が続けています。今後も産地を守るため、びわ栽培に特化した基礎知識の習得や実習を行なっていきます。4月は袋掛けについて現地実習を行ないました。また、柑橘は園地の管理方法について研修しました。5月からは、びわの栽培の基礎を学ぶ「びわ塾」と、かんきつの新規就農者向けの「かんきつ基礎講座」に分けて研修を行います。



JAひろしま女性部芸南地区本部総会 SDGsに力を入れます



JAひろしま女性部芸南地区本部は4月26日、安芸津支店で令和6年度総会を開き、女性部員やJA職員等30人が参加しました。

総会では、令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画等を協議し、すべて承認されました。

今年度の活動では、SDGs（持続可能な開発目標）に力を入れ、天然素材のヘチマの食器洗いスポンジを推進するほか、「ワクチンで助かるちいさな命を救いたい」を合言葉に、ペットボトルキャップを集め、開発途上国へワクチンを届ける活動が決まりました。



野菜 6月

馬鈴しよの病害虫防除と収穫貯蔵の管理

生育後半となり、病害虫の発生も多くなります。
本作は雨が多く、特に病気の管理に注意が必要です。観察・防除を徹底しましょう。

〈防除例〉

収穫2週間前まで

アブラムシ・疫病対策

モベントフロアブル 4,000倍液
(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
フオリオゴールド 1,000倍液
(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

収穫1週間前まで

ジャガイモガ・疫病対策

ランネート45DF 1,000倍液
(収穫7日前まで、使用回数5回以内)

ベトファイター顆粒水和剤 2,000倍液
(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

ジャガイモガ・ヨトウムシ類
フェニックス顆粒水和剤 2,000倍液
(収穫前日まで、使用回数2回以内)

ヨトウムシ類
ベネビアOD 4,000倍液
(収穫7日前まで、使用回数3回以内)

または
デアナSC 5,000倍液
(収穫前日まで、使用回数2回以内)

〈収穫〉

ためし掘りをして晴天日に掘り取りをし、貯蔵については適度に風乾してジャガイモガの侵入を防ぐために、寒冷紗などで覆い保管しましょう。

〈貯蔵〉

乾燥後、直射日光の差し込まない風通しの良い小屋に吊り下げて貯蔵します。
コンテナに並べて貯蔵する場合は、収穫時に葉を玉の上、8〜10cm残して切り落とし、風通しに注意し、薄く広げて風乾貯蔵します。天候が悪い場合は扇風機等で強制乾燥します。

玉ねぎ収穫前の防除と収穫貯蔵の管理

〈腐敗防止と貯蔵性向上〉

ベンレート水和剤 2,000倍液
(収穫前日に) 玉ねぎの玉球によくかかるよう散布してください。
(総使用回数6回以内)

〈収穫〉

茎葉が70〜80%倒伏し2〜3日晴天が続いた後に収穫します。収穫は早すぎると減収し、遅れると腐敗が増加します。

増加します。

〈乾燥〉

降雨直後に収穫すると腐敗により貯蔵性が悪くなることがあります。晴天の続く日を見計らって抜き取り、2〜3日地干しした後に収納します。このような「地干し処理」は貯蔵性を高め、腐敗率がかなり低下します。

〈貯蔵〉

乾燥後、直射日光の差し込まない風通しの良い小屋に吊り下げて貯蔵します。
コンテナに並べて貯蔵する場合は、収穫時に葉を玉の上、8〜10cm残して切り落とし、風通しに注意し、薄く広げて風乾貯蔵します。天候が悪い場合は扇風機等で強制乾燥します。

その他野菜の管理について

主に5月に植え付け、収穫をはじめた野菜が多いと思いますが、これからの長雨により株が傷みやすい時期になります。キュウリなどは6月に追加で種まきをすることで、梅雨明けに収穫がはじまり、その後秋口までの切れ目のない出荷をめざすことができます。ほ場に余裕があればカタログなどで夏まき野菜の品種を検討し、6月中の追加種まき・定植をおすすめします。

●収穫直後、夏肥を施用しましょう

商品名…園芸用有機化成 (特A805号)
施用量…60kg/10a

●梅雨明けまでに根の保護のため、堆肥を施用しましょう

商品名…豊穠・こたわり健肥等
施用量…1〜2t/10a

●収穫後に必ずせん定を実施しましょう

●病害虫防除を実施しましょう
収穫後にカミキリムシ・アブラムシ類対策としてモスピラン顆粒水溶液(劇)2,000倍液、がんしゅ病対策としてコサイド30001,000倍液を混用して散布しましょう。また尿素600倍液も樹勢維持のために混用しましょう。

いちじく

カミキリムシ類・アイノキクイムシ類対策として、ガットサイドS原液を株元中心に塗布しましょう。塗布する代わりにアイノキクイムシ類対策として、1.5倍液を主幹部に散布することも可能です。

●芽かきは7月上旬には完了させましょう

目安…結果枝4本/1m

〈馬鈴しよの生産者のみなさまへ〉

馬鈴しよの「ウイルス病」が多発しています。感染源となる「アブラムシ」を防除しないと、生産量が減少し、大きな被害をもたらします。畑に残ったイモも感染源となるため、早めの除去が必要です。種イモは連作せず、健全な製品を購入しましょう。切断感染もするので、包丁は必ず殺菌しましょう。

〈生産工程管理日誌を提出しましょう!〉

生産工程管理日誌は作業記録としても利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用は細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

野菜問 営農経済課

TEL 0846-4513360
担当 久保勝義

果樹 7月

今月は品質向上対策として、樹勢維持等の基本管理の徹底が必要となります。また、中晩柑の大玉生産・びわの収穫後の管理が重点管理項目となります。

かんきつ

●摘果の徹底

しらぬひ・はるみ等中晩柑類の大

●かん水

土壌の過乾燥に注意し、無降雨が5日〜7日程度続くようであれば、かん水を実施しましょう。敷き藁やココナツピート等を施用すると、かん水の頻度が減らせ省力化に繋がります。

農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・周辺住民・周辺環境への安全を確保するため、周辺住民や農家に配慮し掲示版等で農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・対象作物の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従い、決められた使用量や用法を守りましょう。
- ・消費者の安全を確保するため、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数等を守れば残留量が基準値を超えることはありません。作物名には間違いないものがありますので、特に注意してください。

果樹問 安芸津アグリセンター

TEL 0846-4510488
担当 広果連駐在技術員 栗木富生

6月の野菜作付情報

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。

数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂きぜひご利用ください。

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	初秋	6月中旬～	8月中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。

※特注品についても相談の上、対応致します。



128穴セルトレイ



(商品例) ブロッコリー苗

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

JAひろしま

ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



あなたとわたしの
ふれあい市



6月の
おすすめ

梅雨入りして雨の日の外出はおっくうになりがちですが、ふれあい市ではこの時期にしかないびわや新鮮な野菜などを取り揃えてみなさまのご来店をお待ちしております。

キュウリ



びわ



ミニトマト

うめ



スイカ



じゃがいも



なすび



『海辺のふれあい祭り』開催!

～新じゃがとびわのコラボレーション～

日時 6月15日(土)、16日(日) 9:00～15:00

場所 ふれあい市安芸津店

(東広島市安芸津町風早647-8)

安芸津特産の◎馬鈴しょやびわも店頭販売します。

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い
合せください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。